

目指す児童像

思いやりのある
よく考える
明るく元気な
進んではたらく

海道小だより

第 6 号

平成27年10月発行
宇都宮市立海道小学校
校長 影山 晃一

第2学期が始まり約1週間。一人一人が新たなめあてをもち、あいさつ、集会での態度、授業中の姿勢など、これまで以上に明るく、節度ある生活を送っています。

10月の目標「おもいやりをもって生活しよう」

本校の、目指す児童像の一つである「思いやり」。4月から、機会を捉えて、思いやりのある「こころ」、「ことば」、「こうどう」の話をしてきました。児童は、日常の生活や授業、集会などの中で、思いやりを身に付けてきました。

◇ 宮っ子心の教育表彰

9日(金)、「宮っ子心の教育表彰」を行いました。この表彰は、市教育委員会が実施するもので、見本となる行いを実践している児童生徒が対象です。本校では、「気持ちのよいあいさつ」を取り上げました。あいさつも、思いやりの表れです。

目の前にいる人を大切にする思いやりがあるから、相手を見て、笑顔で、時と場に応じたあいさつができます。各学級から選ばれた8人に表彰状を渡し、行いを褒め、今後のさらなる成長を期待しました。



◇ 第2学期始業式

式の中に、2学期の楽しみ、めあてについて、2、4、6年の代表児童へのインタビューを行いました。「生活科の授業が楽しみ」、「持久走大会で練習の成果を発揮したい」、「国語や算数の学習に力を入れたい」、「気持ちや考えを、相手に上手に伝えられるようにしたい」など、それぞれの思いを発表しました。終業式に、

「1学期の自分を振り返り、めあてをもって始業式に臨んでください」と話したことを、海道小の一人一人が実行し、前向きな気持ちが全体に伝わりました。



◇ いじめゼロ強調月間

本校では、10月の目標に合わせ、「いじめゼロ強調月間」を、同時に展開しました。いじめを未然に防ぐため、児童の規範意識や人権感覚を高める取組の一つとして、標語、イラストを募集しました。また、28日(水)には、児童主体の「いじめゼロ宣言集会」を実施し、仲良く思いやる機運を盛り上げていきます。

行事から

実施した行事のいくつかと、本校の目指す児童像をお知らせします。

稲刈り（7日） ～進んではたらく子ども～

田植えをしたのが5月13日。5か月間、太陽、水、栄養、そして稲見さんのお力添えのお陰で、実りの秋を迎えました。児童は、かまを使って丁寧に刈り、自然の恵みに感謝しながら稲穂の重みを感じ、作物の成長を喜びました。

収穫したお米は、稲見さんに保管いただき、その代りにもち米をいただき、学校で食します。



餃子献立給食（15日） ～明るく元気な子ども～

本市では、市立小中学校全校で、餃子を献立に取り入れた給食を実施しました。一斉に餃子を食べることで、宮っ子としての意識や誇りを高めます。本校では、豊郷地域学校園で栄養士が話し合い、餃子飯を献立にしました。ごはんに、栃木県産のニラやかんぴょうなどの餃子の具が入り、お米と餃子の味が一度に楽しめました。児童からは、「おいしい」、「また食べたい」の聲が寄せられました。



音楽集会（20日） ～思いやりのある、明るく元気な子ども～

全校児童で「Believe」を歌いました。学校の合唱、特に卒業シーズンに歌われる曲です。歌詞の意味を考え、やさしい気持ちで歌声と心を合わせることができました。

次に、2年生が歌唱「やさしさに包まれたなら」と合奏「アイアイ」を発表しました。伸びやかな歌声、息の合った鍵盤ハーモニカと打楽器の発表に、大きな拍手が送られました。



お知らせ

校内外の出来事で、保護者や地域の方にお知らせしたいことを取り上げました。

豊郷地区青少年健全育成標語・作文・ポスター表彰式

9月27日（日）、豊郷地区市民センターにて行われました。夏休みの課題の一つとして児童が取り組み、標語200点、作文46点、ポスター12点の応募があり、その中から入選、佳作の作品を仕上げた児童が表彰されました。地区のまとまり、健全育成への意識の高さ、そして、本校児童の熱心な参加を感じました。おめでとうございます。

教育実習生着任

宇都宮大学の4年生が、教員免許取得のため、10月19日から30日まで、教育実習を行います。1年1組に配属し、授業をしたり、生活を共にしたりして、教師としての実践的な体験を重ねます。担任からの指導を受けながら、休み時間には、外で児童と仲良く遊ぶなど、熱心に取り組んでいます。

